

広野町人にやさしいまちづくり条例 が制定されました



新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、福島県内においては、連日、新規感染者が確認されており、誰もが新型コロナウイルスに感染する可能性があります。感染された方も被害者であり、誰もがその立場になり得ます。SNSなどで感染した方を特定して非難する行為はあってはならないことです。私たち広野町民は、震災と原発事故以降、つらく苦しい風評に見舞われてきました。そのような経験をもつ広野町だからこそ、町民の皆さまには、新型コロナウイルスについても、「正しく恐れる」ことで冷静に対応し、感染された方やそのご家族、関係者、医療従事者などに対する差別や偏見は、絶対になさらないようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症をはじめとする疾病、障がい、性別などを理由とした誹謗中傷または偏見に基づく差別的な言動などによる人権侵害を防ぎ、お互いが人権を尊重し、思いやりの心を持ち、互いに支え合う、人にやさしい町、住みよい地域社会、町民一人ひとりが幸せに暮らせるまちづくりを実現するため、「広野町人にやさしいまちづくり条例」を制定しました。

町の責務

- ・町は、あらゆる差別の原因となる偏見や誤解をなくすため、正確な情報を収集および整理するとともに、これを町民に対し、速やかに伝達する。
- ・町は、あらゆる差別を防止するため、正しい知識に基づく広報や教育活動など必要な施策を継続的に行う。
- ・町は、あらゆる差別を受けた町民に対し、適切な支援および助言を行う。
- ・町は、あらゆる差別に関する相談に的確に応じるため、相談体制の充実に努める。

町民などの責務

- ・町民および事業者は、互いに思いやりの心を持って、差別をしない、させない、見過ごさないという自覚を持ち、あらゆる差別またはそれらを助長するような情報発信などを行わないように努めるとともに、これらをなくすため町および関係機関などの施策に協力する。

人権問題でお困りの時はご相談ください

毎日の生活の中で、次のような「人権問題」でのお悩みはありませんか？

- DV、離婚や扶養、相続など、家庭内で問題が起こった
- 家主や地主から一方的に立ち退きを求められている
- 体罰や「いじめ」を受けた
- 不当に仲間はずれにされたり、差別的扱いを受けた
- 高齢者虐待、児童虐待、障がい者虐待が発生している
- セクハラ・パワハラを受けている
- 変なうわさをたてられ、名誉や信用を失った
- 近隣間の騒音、悪臭、ばい煙などに悩まされている

このような問題で困っている、悩んでいる場合は、下記お問合せ先までご相談ください。

相談は、町長が推薦し、法務大臣の委嘱を受けた人権擁護委員および法務局職員が対応しますので、お気軽にご相談ください。

インターネット人権相談

<http://www.jinken.go.jp/>

(パソコン、携帯電話、スマートフォン共有)
受付時間：24時間対応



みんなの人権110番

☎0570-003-110

子どもの人権110番

☎0120-007-110

女性の人権ホットライン

☎0570-070-810

福島地方法務局人権擁護課

☎024-534-1994

相談時間：午前8時30分～
午後5時15分
(年末年始を除く平日)



問 広野町 町民税務課 ☎0240-27-4160

新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをお願いします。

自分をまもり、大切な人をまもり、地域と社会を守るために、接触確認アプリをインストールしましょう。



厚生労働省

新型コロナウイルス接触確認アプリ (略称：COCOA)



令和2年第4回広野町議会定例会議案

議案第84号	広野町人にやさしいまちづくり条例の制定について
議案第85号	広野町教育委員会事務局の指導主事の給与に関する条例の制定について
議案第86号	広野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
議案第87号	工事請負契約の変更契約について(道の駅土砂採取工事)
議案第88号	令和2年度広野町一般会計補正予算(第9号)
議案第89号	令和2年度広野町介護保険特別会計補正予算(第3号)
議案第90号	令和2年度広野町土地開発事業特別会計補正予算(第4号)
議案第91号	広野町固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて

県管理河川である浅見川の河川改修事業については、本年9月に設計が完了し、令和3年度



復旧が進む北迫川

んでおり、進捗は、約8割の箇所が工事に着手をし、約7割の箇所については復旧が完了しました。災害復旧工事の早期完了に向けて全力で取り組んでいきます。

内に工事を完了する予定です。県道上戸渡・広野線の道路災害復旧については、箒平地区手前の平鈴地区については令和2年12月に工事が完了する予定であり、箒平地区からいわき市方面の災害復旧については、令和3年5月に工事が完了する予定です。

町道等の維持管理については、道路路面補修による安全性の向上や支障木の除去による見通しの確保等の道路維持補修に取り組みました。

道の駅の整備については、8月3日、9月18日議会全員協議会、8月7日道の駅整備検討委員会、8月29日地権者説明会、8月30日住民説明会において出された様々な意見を取りまと

教育委員会

9月24日、広野町魅力化推進協議会を開催しました。こども園、小学校、中学校の教職員とPTA代表、地域住民代表等が出席し、広野町の教育の魅力化、活性化に向け協議を行い、「心をつなぐ絵手紙・お手紙コンクール」展覧作品の審査を実施しました。203件の応募があり、町長賞をはじめとする各賞に55作品が選定されました。

10月24日、第23回広葉祭を広野中学校で開催しました。生徒たちは、総合発表、合唱発表、昇龍太鼓、全生徒で披露する広

め、国との協定の基に整備方針を取りまとめいきます。敷地内の災害対策工事を実施し、土取りをした土地を有効に利用することを促し、一時避難場所と成りうる町民の命を守る「災害に強いまちづくり」に向けた、有事の際の防災機能を備える防災エリアの整備に取り組んでいきます。土砂採取工区域の災害対策については、法面の崩落を防止する法面保護工や雨水の流速を制御し下流域住宅地の減災を図る調整池の調査設計を進めるとともに、近隣の環境整備として正木内地区から折木川までの排水路の調査設計を進めていきます。



広中ソーランを披露

中ソーランに真剣に取り組ましました。

11月14日、第36回福島県中学校選抜剣道大会が開催され、女子団体戦で見事優勝を飾り二連覇を達成しました。女子個人戦においても、井上愛海選手が優勝、根本藍選手が第三位となりました。

11月27日、広野町人権教育研究発表会を広野小学校において開催しました。今年度より2年間、広野町が福島県人権教育総合推進地域の指定を受け事業を実施するものです。主題を「互いのよさを尊重し、新たな価値観を創り上げる子どもの育成」と題し公開授業を行い、県内の教職員、保護者、人権擁護員など、約80名の参加がありました。

第14回市町村対抗福島県軟式野球大会が開催され、9月5日、開成山球場で開催された一回戦において玉川村と対戦し、3対2で、19日の二回戦は小野あぶ

くま球場において、二本松市に8対7でそれぞれ勝利しました。25日の三回戦は県営あづま球場において、富岡町と対戦いたしました。健闘及ばず0対9で敗退しました。

第7回市町村対抗福島県ソフトボール大会が開催され、10月18日、会津美里町と対戦しましたが、健闘及ばず0対7で敗退しました。

11月1日、「ひろの秋祭り・文化展」を三ツ沼体育館で開催いたしました。子供たちを始め、各種団体から多数の作品が展示され、多くの方に来場をいただき、展示された作品を楽しく鑑賞しました。

11月15日、第32回市町村対抗福島県陸上競技場をスタート、福島県庁をゴールとして開催され、9区間50.2kmで健脚を競いました。今年はコロナ禍の影響により、沿道からの応援を取り止め、区間を減らし、規模を縮小して行われましたが、日頃より厳しい練習をしてきた選手が頑張りにより、総合成績においては50チーム中20位、町の部において26チーム中8位となり入賞を果たしました。第1区において、町の部区間賞を獲得するなど、過去最高の記録を残すことができました。